

研修案内

高齢者虐待を家族関係から考える ～養護者・介護者支援の課題として～

虐待の疑いがある家族等に対して、どのように向き合うべきか？

いろいろと悩んだ経験をお持ちの介護支援専門員は多いと思います。

私たち、対人援助職にとって大事なテーマです。是非、ご参加ください。

講 師：中村 正 氏（立命館大学 産業社会学部 人間科学研究科 教授）

開催日時：令和2年9月12日（土） 14時～16時（開場 13時30分）

開催場所：堺市西文化会館（ウエスティ）7階 セミナールーム

（堺市西区鳳東町6丁600）

参加申込：裏面の申込書をfaxしてください。

参加定員：36人（先着順、堺市西区で在住・在勤の方に限らせて頂きます）

参加費：2,000円

主 催：大阪介護支援専門員協会堺市西区支部

～講師プロフィール～



立命館大学法学部卒業後、大学院で社会学（社会病理学）を専攻。現在は、臨床心理や対人援助に関する専門職を養成する大学院で教える。暴力と虐待、主に加害についての臨床を行いながら研究し、現場は、少年刑務所での性犯罪者処遇、児童相談所での虐待親面談と家族再統合実践、男性問題相談にかかわる民間団体でのDV加害男性向けグループワークなどを実践。NPO 法人では本邦初の京都コミュニティ放送（FM ラジオ局）の実現にも携わり、3年程パーソナリティを務めた。きょうと NPO センター理事長もつとめる。大阪府の高齢者虐待研修をもとにしてその後、養護者支援事例検討会を開催しています。

主な関連著作として、『ドメスティック・バイオレンスと家族の暴力』（2000年、作品社）、『犯罪被害者と刑事司法』（岩波書店、2017）、『治療的司法の実践』（2018年、第一法規）等。

参加の際、感染防止の対応にお努めください。また、感染防止対応等で本研修が急遽、中止になる可能性があること、ご留意ください。